
異世界に召喚された平凡な勇者

poliki-poliki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界に召喚された平凡な勇者

【Zコード】

Z0247BA

【作者名】

poliki · poliki

【あらすじ】
ひょんなことで異世界に勇者として召喚されてしまった高校生、
庄子貢。彼は勇者として敵を倒し、現実世界へ帰ることができるのか。

一、青年と老人と少女（前書き）

初投稿。

ものすごく気まぐれに思いつきで書いてるので大目に見てください
れば幸いです。

一、青年と老人と少女

とある小さな家の一室。ベッドで横になっていた青年が目を覚ます。

「……ここは？」

青年は体を起こし周囲を見渡す。目に映るのは見慣れない石造りの殺風景な部屋。しかも、やたらと広いのでなんとなく落ち着かない。

「おお、気付いたか！」

不意に声をかけられた。青年が声の方向に顔を向けると、部屋の入口に、杖を手に黒と紺を纏つた白ひげの老人が立っていた。

まるで魔法使いみたいだな。

青年がそんなことを考えていると、老人は廊下に出て誰かに叫んだ。

「ルナ！ 温かいの持つてこい！ 男が起きたぞ」

「はい！ ただいま！」

その声に若い女の声が反応した。結構親切だなあと思っていると、「おい、バカ！ それじゃとスープが……」

と聞こえたのも束の間、スープの入った皿が物凄い勢いで部屋に入ってきた。そして、青年の目の前までくると皿は急停止した。言わずもがな、スープは慣性の法則に従い皿から飛び出し……。

ビシャッ

老人が慌てて部屋に戻ったときには、青年とベッドはスープ色に染まっていた。

そこへ、一人の少女がとたとたと走ってくる。

「どうぞお飲みください……あれ？」

彼女にとつて想像だにしていなかつた光景に、頭に疑問符が浮かぶ。

「何をすべきか……」

「ひつ！」

少女は横にいた鬼の形相、いや、悪魔の形相をした老人に気付く。

「……分かっておるじやろうなああ……！」

「はい――――――――――――――――――！」

少女の悲鳴の「」と返事は家中に響いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0247ba/>

異世界に召喚された平凡な勇者

2011年12月31日16時59分発行